

第 3 講座 1 次関数

要点のまとめ

- 1 次関数 y は x の関数で、 y が x の 1 次式で表されるとき、 y は x の 1 次関数といい、 $y=ax+b$ と表される。
- 変化の割合 1 次関数 $y=ax+b$ では、 $a=\frac{(y \text{ の増加量})}{(x \text{ の増加量})}$ となり、これを変化の割合という。
- 1 次関数のグラフ 1 次関数 $y=ax+b$ のグラフは、傾きが a 、切片が b の直線である。

チェック① 1 次関数

1 次関数 $y=2x+3$ について、

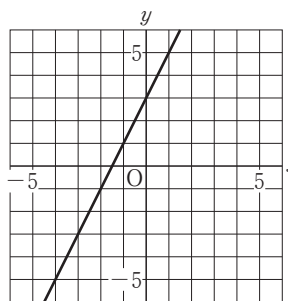
- (1) 変化の割合(傾き) $\cdots y=ax+b$ の a の値だから 2

$2=\frac{2}{1}$ だから、 x が 1 増加すると y が 2 増加する。

- (2) 切片 $\cdots y=ax+b$ の b の値だから 3

グラフは、 y 軸と $(0, 3)$ で交わる。

- (3) グラフ \cdots 右の図



1 2つの1次関数「① $y=\frac{1}{2}x-5$ 」, 「② $y=-2x+1$ 」について、次の問いに答えなさい。

- (1) 変化の割合を求めなさい。

① []

② []

- (2) x の増加量が 2 であるとき、 y の増加量を求めなさい。

① []

② []

- (3) $x=-2$ に対応する y の値を求めなさい。

① []

② []

- (4) グラフが y 軸と交わる点の座標を求めなさい。

① []

② []

- (5) x の変域が $-4 \leq x \leq 2$ のとき、 y の変域を求めなさい。

① []

② []

- (6) この関数のグラフをかきなさい。

